株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については 毎年3月31日 中間配当および株主優待については 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
（公告掲載アドレス）	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料） ［手続き書類のご請求方法］ ○電話によるご請求 0120-232-711（通話料無料） ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

NAGANO trend 40

信州の夏りんご「シナノリップ」

りんごといえば、秋から冬にかけて収穫されるのが一般的ですが、「シナノリップ」は夏の暑い時期、8月中旬に収穫を行います。また、りんごは通常、夏の暑い日が続くと色付きが悪く果肉が柔らかくなってしまうと言われていますが、この問題を乗り越えるべく、長野県が19年もの歳月をかけて開発を行い完成させました。

「シナノリップ」は甘味と酸味がほどよく調和し、シャキっとジューシーな果汁が口いっぱいに広がる、夏にぴったりのりんごです。2018年に品種登録されたばかりの新しいりんごであるため、現在は生産量が少なく長野県でのみ栽培されていますが、果汁が多く味のバランスが良い点、また秋口に多い台風被害を逃れられる点などが注目されていることから、今後の成長に期待が寄せられている商品です。

これからの季節に旬を迎えるシナノリップ、機会がありましたらぜひご賞味ください。

PRO-WE PROJECT-With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO2はPROJECT- With the Earth を通じてオフセット（相殺）しています。
UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK

Takano タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.51

©Snowman Enterprises Ltd. 2021 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第68期 年次報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社の第68期業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の業績について

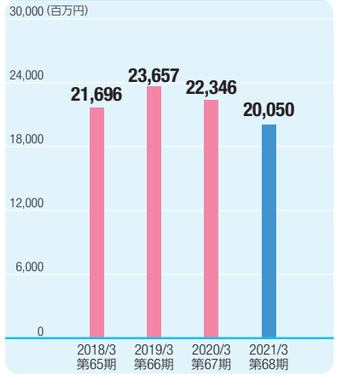
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、政府より緊急事態宣言が発出されるなど、経済・社会活動が制限されたことにより、景気は急速に後退しました。緊急事態宣言解除後には、段階的に経済活動は再開され、政府主導の景気対策の効果等もあり、景気は持ち直しの動きも見られましたが、再び感染者が増加傾向に向かうなど、新型コロナウイルス感染の収束は見えておらず、先行きは不透明な状況が続いております。
このような環境のもとで、当社グループは、全社的な新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しつつ業務を継続してまいりました。また、経済活動の停滞や顧客企業への移動制限等による販売の減少に対応するべく、工場の稼働調整や徹底した経費削減等、全社的な観点で固定費用の削減に努めてまいりました。
しかしながら、全事業分野にわたる販売の減少により、当連結会計年度の売上高は20,050百万円で、前連結会計年度比2,296百万円、10.3％の減収となりました。
利益面につきましては、積極的なコスト削減等に努めたものの、販売の減少による影響および研究開発体制拡充のための先行投資に係る影響等により、営業損失97百万円（前連結会計年度は営業利益754百万円）、経常利益147百万円（前連結会計年度比710百万円、82.8％の減益）となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、投資有価証券評価損、埼玉事業所に係るのれんの減損等の特別損失の計上等により、親会社株主に帰属する当期純損失11百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益585百万円）となりました。

代表取締役社長
鷹野 準

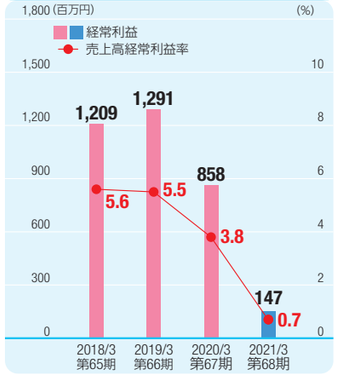
次期業績の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスのワクチン接種は拡大するとともに、新しい生活様式の定着等により、経済活動は徐々に持ち直していくことが期待されるところでありますが、より感染力の強い変異株の感染拡大に対する懸念等もあり、景気の先行きについては不透明な状況は継続しております。
次期の連結業績につきましては、売上高21,810百万円（前連結会計年度比8.8％増）、営業利益445百万円（前連結会計年度は営業損失97百万円）、経常利益500百万円（前連結会計年度比238.9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益280百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失11百万円）を見込んでおります。また、次期の年間配当金は１株につき12円を予定しております。

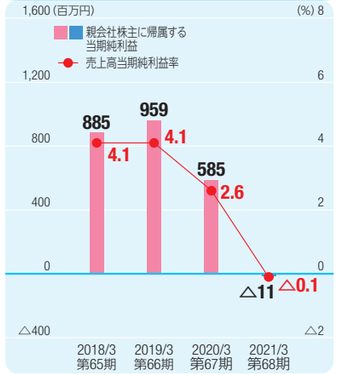
売上高



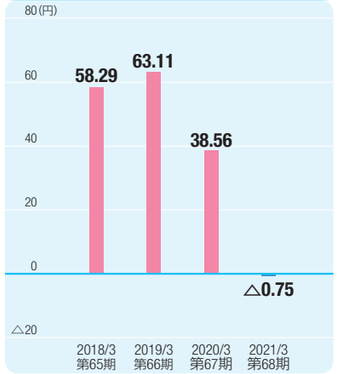
経常損益／売上高経常損益率



親会社株主に帰属する当期純損益／売上高当期純損益率



1株当たり当期純損益



次期業績の見通し

	連　結	単　体
売　上　高	21,810百万円 （前期比8.8％増）	18,920百万円 （前期比7.6％増）
経常利益	500百万円	325百万円
当期純利益	280百万円	170百万円

※上記表の連結「当期純利益」は親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

中期経営計画「ONE TAKANO」を策定

タカノでは、このたび従前の中期経営計画「Next Innovation 71」（2021年3月期～2024年3月期）の内容等の見直しを行い、あらためて、中期経営計画「ONE TAKANO」（2022年3月期～2024年3月期）を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

1.中期経営計画の見直し策定について

当社グループでは、2024年3月期を最終目標年度とする中期経営計画「Next Innovation 71」（2021年3月期～2024年3月期）を策定し、計画の推進を行っておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大により、経営環境が大幅に変動し、「世の中の意識・マーケットの大きな変化」「足元業績と目標との大幅な乖離」等、計画の前提条件に大きな変化が生じたため、中期経営計画の見直し検討を進めてまいりました。今般、中期経営計画の見直しが取りまとまりましたため、以下のとおり、新中期経営計画「ONE TAKANO」の概要をお知らせいたします。
当社グループでは、従前の中期経営計画「Next Innovation 71」の反省を踏まえ、新たな価値の創造と当社グループの次の成長基盤の構築を果たすべく、取組み施策の重点化と具体化を行い、当社グループ全体の総合力を発揮し、新たに設定する目標の達成を目指すものであります。

2.中期経営計画の基本方針

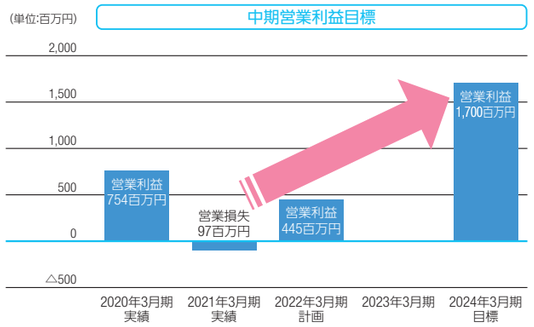
今般策定の中期経営計画では、従前の中期経営計画の基本方針は概ねそれを引き継ぎ、会社の普遍的な目指すべき姿を定めるとともに、中期経営計画の施策取組みにおける切り口をキーワードとして定めております。
また、今般策定の中期経営計画では、各事業分野を超えて、当社グループ全体で総合力を発揮し、課題に取り組むことを明確に定めております。
これらの基本方針のもと、重点施策を定めて目標の達成を図ることとしております。

(1) 長期経営方針
「百年企業となる」～常に革新・進化し続ける～
(2) 目指す企業像
「常に高い志を持ち、社会のルールを守り、持続的成長・発展を通じ、豊かな社会の実現に貢献する」
(3) 中期経営計画スローガン
「ONE TAKANO」～総合力を発揮する～
(4) 中期経営計画基本方針
「構造改革とプロセス改革により、高付加価値事業へシフトし、新たな成長路線を構築する」
(5) 中期経営計画キーワード
「３Ｃ＋Ｓ」
Change
Chance ＋Speed　(Quick Action)
Challenge

3.中期経営目標

今般策定の中期経営計画では、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大にともなう経営環境の大幅な変動を受けて、計画目標年度（2024年３月期）の目標値の見直しを行っております。
当社ではグループ一丸となった取組みにより、目標の達成を目指してまいります。

2024年３月期	売上高目標	263億円
	営業利益目標	17億円
	（営業利益率）	6.5%



4.全社的重点施策の概要

今般策定の中期経営計画では、以下の内容を重点施策事項と定めて、取組みスピードの向上を目指してまいります。

(1) 高付加価値な商品・サービスへのシフト
・技術的優位性を追求し、研究開発型経営を指向
・ＡＩ、ＩｏＴ、センサー、ソフトウェアを組み込んだ高付加価値な商品・サービスの開発提供
(2) 重点分野の設定と資源の重点配分による成長の加速
・医療機器関連事業分野
・半導体等関連事業分野
・ニューノーマル（新常態）関連事業分野
・海外展開の強化（中国拠点・北米拠点の機能拡充と強化）
(3) 生産性向上に向けたプロセス改革による組織・運用の見直し
・クロスファンクション組織を通じた会社全体の総合力の発揮
・プロセスの徹底的デジタル化
・ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）によるモノづくり革新と間接業務改革
・次世代の人材育成と人事制度の見直し
(4) M&A・コラボレーション等の推進
・事業構造改革のスピードをあげるため、オープンイノベーション・コラボレーション・M&Aを積極化
(5) ＥＳＧ・ＳＤＧｓ等に関する体制整備と施策実行

ヘルスケア部門

速度制御機能付き歩行車「U WalkerⅡ」販売開始

本年4月、当社ヘルスケア部門の新商品「U WalkerⅡ」の販売を開始しました。「U WalkerⅡ」は当社の既存商品「U Walker」のアドバンスモデルであり、使いやすさをさらに向上させ、より安全性を高めた速度制御機能付き歩行車です。高齢者や障がい者の歩行の安全を確保し、よりアクティブな生活を支援するべく開発をすすめてきました。

従来の速度制御機能付き歩行車は、制御設定のむずかしさが課題となっていましたが、「U WalkerⅡ」は回すだけのダイヤル式速度調節器を採用することで、わかりやすい操作方法を実現しました。また充電が不要であるため、バッテリー残量を気にすることなく、急な使用にも対応が可能です。さらにハンドルの高さを体格に合わせて細かく調整することができるため、小柄な方から長身の方まで幅広くお使いいただけます。

超高齢化社会を迎える現代において、誰もが安心して暮らせる社会環境づくりが大きなテーマとなっています。今後も社会的ニーズを迅速に捉え、お客さまの快適な生活のお手伝いができるよう、研究・開発に注力してまいります。

アグリ事業推進室

機能性表示食品「脳活ジオスゲニン」販売開始

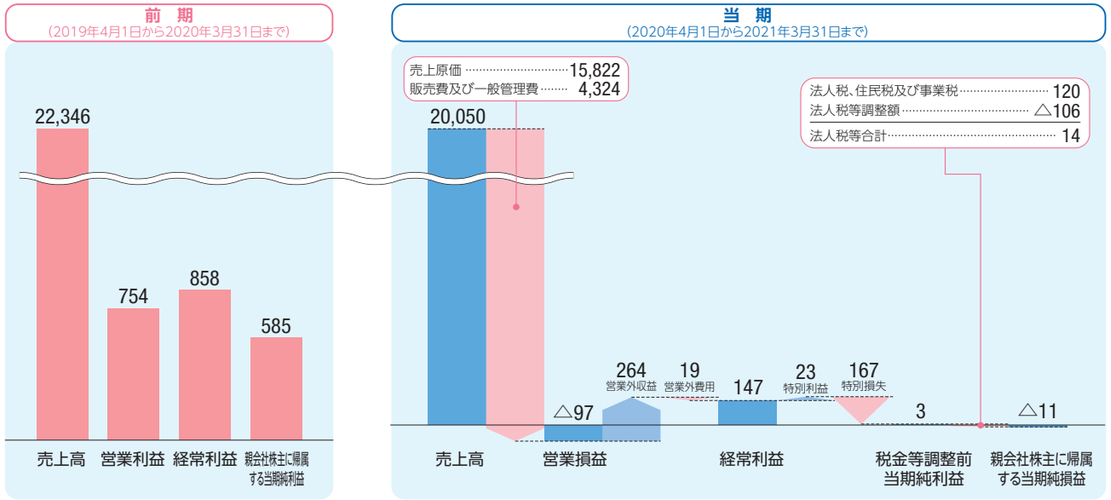
本年4月、当社アグリ事業推進室の新商品「脳活ジオスゲニン」の販売を開始しました。ジオスゲニンとはヤマイモ由来の成分であり、加齢に伴う認知機能低下を防止し維持する効果があるとされています。ヤマイモは紀元前より不老長寿の生薬として取り扱われ、多くの漢方薬にも用いられてきました。しかし、日常において多量のヤマイモを接種することは困難であり、また単純に食すだけでは脳機能への効果はほとんど期待できません。「脳活ジオスゲニン」は、ジオスゲニン成分を効率的に体内へと吸収し、脳神経細胞に届けることを可能にしたサプリメントです。（レジリオ株式会社登録特許）

日本の認知症患者数は、2025年には700万人を超えるとの推計値が発表されており、これは65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算となります。人生100年と言われる時代において、ますます健康寿命への関心が高まっているなか、タカノではみなさまの健やかな毎日をサポートできるよう、引き続き安心・安全にこだわった商品の販売活動に尽力してまいります。

連結決算概要（要旨）

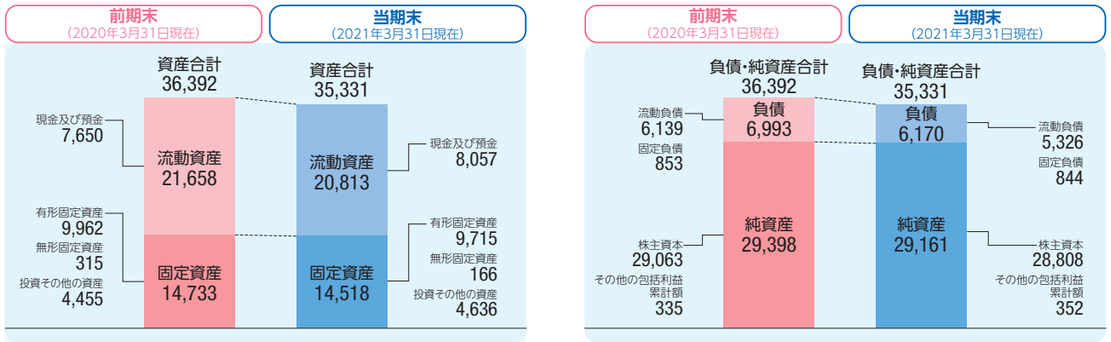
連結損益計算書の概要

（単位：百万円）



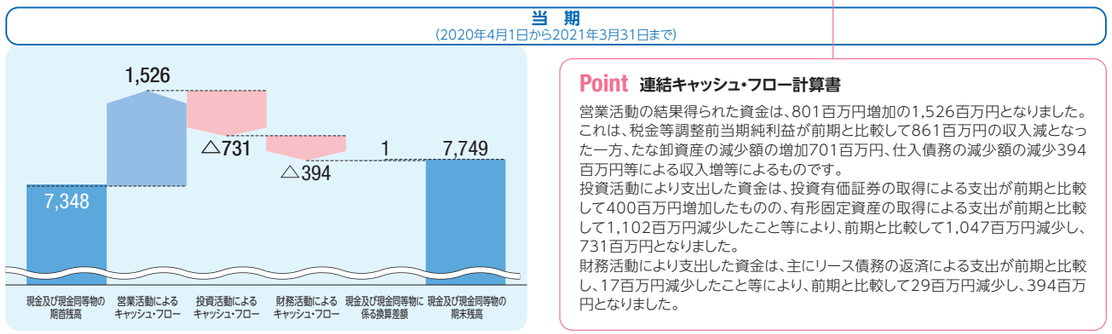
連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）



Point　連結キャッシュ・フロー計算書

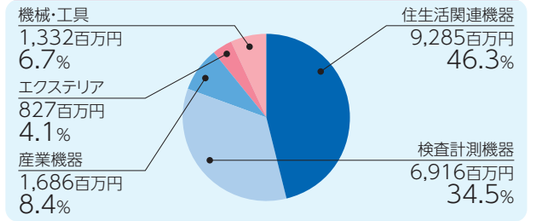
営業活動の結果得られた資金は、801百万円増加の1,526百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が前期と比較して861百万円の収入減となった一方、たな卸資産の減少額の増加701百万円、仕入債務の減少額の減少394百万円等による収入増等によるものです。
投資活動により支出した資金は、投資有価証券の取得による支出が前期と比較して400百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出が前期と比較して1,102百万円減少したこと等により、前期と比較して1,047百万円減少し、731百万円となりました。
財務活動により支出した資金は、主にリース債務の返済による支出が前期と比較し、17百万円減少したこと等により、前期と比較して29百万円減少し、394百万円となりました。

セグメント別概況

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	10,291	9,285	△9.8%	281	△228	－%
検査計測機器	7,577	6,916	△8.7%	299	79	△73.6%
産業機器	1,978	1,686	△14.8%	80	36	△54.5%
エクステリア	955	827	△13.3%	17	△38	－%
機械・工具	1,543	1,332	△13.7%	64	58	△8.8%
セグメント間取引消去	－	－	－%	10	△5	－%
合計	22,346	20,050	△10.3%	754	△97	－%

セグメント別売上高構成比



会社概要（2021年3月31日現在）

商号	タカノ株式会社
本社所在地	長野県上伊那郡宮田村137
創業	1941年7月1日
設立	1953年7月18日
資本金	20億1,590万円
事業内容	事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数	562名
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

グループ会社（2021年3月31日現在）

●株式会社ニッコー
住所　長野県上伊那郡宮田村
事業内容　工具・器具機械等の仕入販売
資本金　90百万円

●タカノ機械株式会社
住所　長野県上伊那郡宮田村
事業内容　省力化機械の製造販売
資本金　50百万円

●台湾鷹野股份有限公司
住所　中華民国台中市
事業内容　検査装置の保守サービス
資本金　20百万台湾元

●上海鷹野商貿有限公司
住所　中華人民共和国上海市
事業内容　オフィス椅子等の仕入販売
資本金　50万米ドル

●香港鷹野国際有限公司
住所　中華人民共和国 香港特別行政区
事業内容　エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）
資本金　1百万香港ドル

●Takano of America Inc.
住所　米国カリフォルニア州 トーランス市
事業内容　エレクトロニクス製品の仕入・販売
資本金　80万米ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役員（2021年6月25日現在）

代表取締役社長	鷹野　準
専務取締役	鷹野　力
常務取締役	大原明夫
取締役	久留島　馨
取締役	玉木昭男
取締役	下島久志
取締役	植田康弘
取締役	鷹野雅央
取締役（非常勤）	黒田康裕
取締役（非常勤）	杉山　徹
社外取締役	鈴木　浩
取締役（常勤監査等委員）	髙嶋　厚
社外取締役（監査等委員）	長谷川洋二
社外取締役（監査等委員）	小松哲夫

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

http://www.takano-net.co.jp

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2020年度の株主優待は、2020年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは以下の6点の商品のなかから1点お選びいただき、12月上旬に贈呈いたしました。100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」を同時期に贈呈いたしました。
2021年度の優待品も、みなさまにお喜びいただけるよう厳選の品をお送りする予定ですので、ご期待ください。

※2021年度の株主優待品は、2021年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、本年12月に贈呈させていただく予定です。

A.ワイン・ウイスキーのセット

B.信州りんご

C.野沢菜漬け

D.信州の長いも

E.信州富士見高原ハム・ソーセージ

F.信州そば

●株式・株主の総数

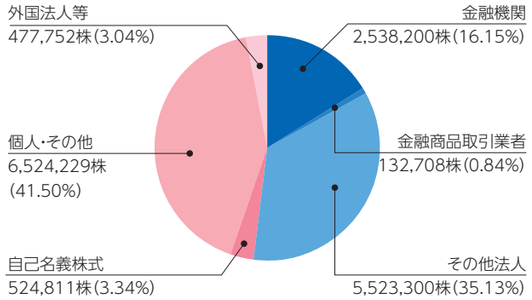
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,721,000株
株主数	6,754名

●大株主

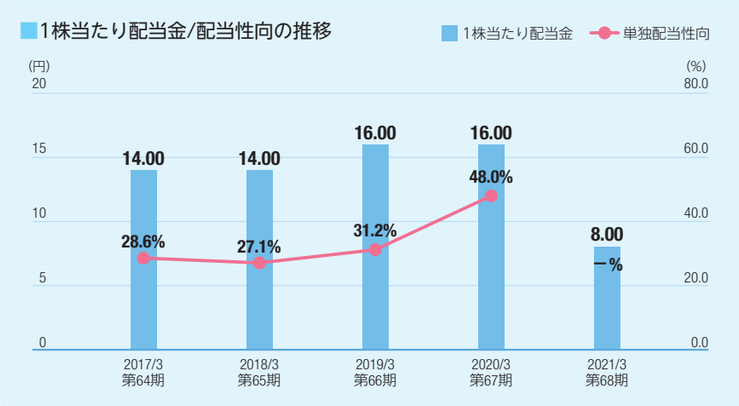
株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.16%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.16%
堀井　朝運	1,487,400株	9.78%
株式会社鷹山	1,135,700株	7.46%
株式会社日本カストディ銀行	668,700株	4.40%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	484,800株	3.19%
水元　公仁	383,800株	2.52%
一般財団法人鷹野学術振興財団	380,000株	2.50%
タカノ取引先持株会	304,000株	2.00%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.86%

(注) 1. 当社は、自己株式を524,811株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式（524,811株）を控除して計算しております。
3. 日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,000千株（持株比率6.58%）を含んでおります（株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託日本発条口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。）。

●所有者別株式の分布状況



●配当金および株価等のデータ



株価
611円
単元株式数
100株
必要最低投資金額
61,100円

上記は2021年3月31日の終値を基に算定しております。